

住居喪失不安定就労者等の実態に関する調査報告書

平成19年8月
厚生労働省職業安定局

目 次

第1部 調査の概要	1
第1章 調査目的	1
第2章 調査・集計方法	1
1 概数調査	1
(1) 第1次調査	1
(2) 第2次調査	1
(3) 集計方法	1
2 生活・就業実態調査	2
第2部 概数調査	3
第1章 オールナイト利用者概数の推計(第1次調査)	3
第1節 調査と集計の方法	3
1 調査の方法	3
2 集計の方法	3
第2節 集計の結果	4
第2章 オールナイト利用者の属性(第2次調査)	5
第1節 調査と集計の方法	5
1 調査の方法	5
2 集計の方法	5
(1) 対象者の類型化	5
(2) データの補正	6
第2節 集計の結果	7
1 性別	7
2 年齢	7
3 オールナイト利用の頻度	7
4 オールナイト利用の理由	8
5 オールナイト利用者の就業状況	8
6 オールナイト利用者の就業形態	9
第3章 住居喪失不安定就労者等の数の推計等	10
1 オールナイト利用者に占める住居喪失不安定就労者等の割合	10
2 住居喪失不安定就労者等の数の推計	10
(1) <1日の利用者数>ベースの推計	10
(2) 常連的利用者の<存在数>ベースの推計	12
3 住居喪失不安定就労者等の特徴	14
(1) 住居喪失不安定就労者等の性別・年齢別構成	14
(2) 住居喪失不安定就労者等のオールナイト利用の頻度	15

第3部	生活・就業実態調査	16
第1章	調査と集計の方法	16
1	調査の方法	16
2	集計の方法	16
(1)	対象者の類型化	16
(2)	調査データの特性	17
(3)	集計の対象	18
第2章	集計の結果	19
第1節	調査対象者の基本的属性	19
1	性別	19
2	年齢	19
3	学歴	20
第2節	住居関係の状況	21
1	オールナイト利用の理由	21
2	オールナイト利用の頻度	21
3	寝泊まりの場所	22
4	住居喪失の理由	25
5	住居のあった場所	26
6	住むところとして最後に頼れる場所	26
7	住居喪失期間	27
8	住居確保の希望・活動	27
9	住居確保のための相談窓口等の希望	29
10	住居確保にあたっての問題	29
11	ネットカフェ等がなかった場合の寝泊まりの場所	30
第3節	就業関係の状況	31
1	就業状況	31
2	就業形態	31
3	職種	33
4	正社員の経験	33
5	求職活動状況	34
6	ハローワークの利用状況	34
7	求職活動に対する支援希望	35
8	求職活動にあたっての問題	35
9	1ヶ月の収入	36
第4節	生活の状況	38
1	1ヶ月の支出	38
2	借金の状況	40
3	雇用保険・社会保険の加入状況	40
4	悩み事等を相談できる人	41
5	将来の生活に対する気持ち	42
6	一番困っていること	42
【別表】	「生活・就業実態調査」の年齢階層別集計表(住居喪失者)	43
【参考】	不安定就労者等の年齢構成	49
【資料】	「生活・就業実態調査」の調査票	51

第1部 調査の概要

第1章 調査目的

住居を失いインターネットカフェ・漫画喫茶等の店舗で寝泊まりしながら不安定就労に従事する「住居喪失不安定就労者」等の実態を、店舗利用者に対する調査を通じて明らかにする。

第2章 調査・集計方法

1. 概数調査（「複合型喫茶店舗を利用する労働者の実態に関する調査」）

（1）第1次調査

- ア. 調査対象 全国の24時間営業のインターネットカフェ・漫画喫茶等全店舗（3,246店舗）の店長・店員等（有効回答数1,173店舗）
- イ. 調査手法 電話調査（（株）日本リサーチセンター）に対する委託）
- ウ. 調査項目 ①当該店舗における平日（月曜日～木曜日）1日あたりの平均的なオールナイト利用者^{（注1）}概数、②①のうち週の半分以上利用する常連者概数
- エ. 調査時期 平成19年6月上旬～中旬

（2）第2次調査

- ア. 調査対象 第1次調査の対象店舗から、店舗の立地条件や地域を考慮して抽出した146店舗のオールナイト利用者（回収調査サンプル数87店舗・1,664人）
- イ. 調査手法 専門調査員が店舗を訪問して協力を依頼し、店舗がオールナイト利用者に対して店内でアンケート用紙を配布・回収（（株）日本リサーチセンターに対する委託）
- ウ. 調査項目 ①性別、②年齢、③オールナイト利用の頻度、④オールナイト利用の理由（「住居がないため」を含む）、⑤ふだんの仕事の有無、⑥現在の仕事の形態（「非正規労働者」等を含む）
- エ. 調査時期 平成19年6月下旬～7月中旬

（3）集計方法

第1次調査で得られた「ネットカフェ等のオールナイト利用者（以下原則として「オールナイト利用者」と表す。）の概数」に、第2次調査で得られた「オールナイト利用者に占める住居喪失不安定就労者等（(2)ウの④と⑥をクロス集計）の割合」を乗ずることにより、住居喪失不安定就労者等の概数を推計するなど、（株）日本リサーチセンターにより集計。

（注1）「オールナイト利用者数」は、平日（月～木曜日）1日において、深夜から朝まで通して利用する者（最低5時間以上利用し、各店舗のオールナイト料金の対象となるような者）の数であり、単に深夜に利用して数時間滞在してすぐに出て行く者を除く。年間を通じた平均的な数。

2. 生活・就業実態調査(「ネットカフェ等のオールナイト利用者アンケート」)

- ア. 調査対象 東京23区内及び大阪市内のオールナイト利用者のうち、住居を失っている者等(回収調査サンプル数東京300人・大阪62人・計362人)
- イ. 調査手法 調査員(2人1組)による調査票に基づく個別面接調査(「東京ホームレス就業支援事業推進協議会」及び「大阪ホームレス就業支援センター運営協議会」(いずれも自治体、NPO、有識者等から構成)に対する委託)
- ウ. 調査項目 ①住居喪失の理由・期間、②住居確保上の問題点、③求職活動状況及び活動上の問題点、④求職活動及び住居確保に係る支援希望の有無、⑤収入・支出状況、その他計29項目
- エ. 調査時期 平成19年6月中旬～7月中旬(東京)、6月下旬～7月下旬(大阪)